

以下の質問に回答してください。

回答締め切りは2020年7月6日（月）正午（日本標準時）です。

あなたや、助成を受けたあなたのプロジェクトについて教えてください。
あなたは次のどちらに当てはまりますか。

※本アンケート回答時にEU加盟国及びアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン及び英国のいずれかにいらっしゃる方については、EU一般データ保護規則（GDPR）に基づき、域内で取得した個人データを域外に移転することは原則禁止されています。そのため、先日のメールでこれらの地域にいらっしゃるご回答を頂いた方に対しては、**GDPRに基づき個人情報と判断される内容に関する質問を表示しない設定としています（結果として一部、質問番号が非連続になっている箇所があります）。**

質問1

1. 今私はEU加盟国及びアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン及び英国以外の場所から回答しようとしている

2. 今私はEU加盟国及びアイスランド、ノルウェー、リヒテンシュタイン及び英国のいずれかの場所から回答しようとしている（居住、出張等理由に関わらず）

質問2 あなたの今の所属を、次の中から1つ選んでください。複数の所属がある方は主たる所属を選んでください。

[大学] 常勤（任期無）

[大学] 常勤（任期付）

[大学] 非常勤

[大学] 院生・学部生

[大学以外] 国公立研究機関

[大学以外] 民間研究機関

[大学以外] NPO/NGO

その他

質問3 あなたの今の役職を記入してください。

役職名

質問4 あなたの今の居住地（国名）を教えてください。

1. 日本国内

2. 日本国以外（国名をご記載ください）

以降の設問では、助成を受けたあなたのプロジェクトについてお伺いします。

質問5 当財団から受けた研究助成の枠組みは次のどちらですか。

1. 共同研究

2. 個人研究

（質問5で「共同研究」と回答した人のみ）

質問6 あなたご自身を含めたプロジェクトの参加人数を教えてください。

※個人研究の方は「該当しない」を選択してください。

1. 2名

2. 3～5名

3. 6～10名

4. 11名以上

5. 該当しない

（質問5で「共同研究」と回答した人のみ）

質問7 プロジェクト参加者の構成を教えてください。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

※個人研究の方は「該当しない」を選択してください。

1. 自分と同じ大学・研究機関の研究者のみ

2. 他大学・研究機関に所属する研究者

3. 市民セクター関係者（NGO/NPO）

4. 地域住民

5. 行政関係者

6. 国際機関（国連等）関係者

7. 企業関係者

8. その他（自由記述）

9. 該当しない

（質問5で「共同研究」と回答した人のみ）

質問8 プロジェクト参加者の国籍の構成を教えてください。

※個人研究の方は「該当しない」を選択してください。

1. 同一国籍の参加者のみ

2. 複数国籍（2カ国）からなる参加者

3. 複数国籍（3カ国）からなる参加者

4. 複数国籍（4カ国以上）からなる参加者

5. 該当しない

質問9 助成期間中に別の助成金・補助金を受けていればその詳細を記載してください。（助成金名、助成者、金額、期間等）該当するものがない場合は、何も書かず次へお進みください。

助成金名：	
助成者：	
金額：	
期間：	

助成金名：	
助成者：	
金額：	
期間：	

助成金名：	
助成者：	
金額：	
期間：	

質問10 助成を受けたプロジェクトは、次のうちどれに当てはまりますか。

- 1. 基礎研究
- 2. 応用研究

助成を受けたプロジェクトがもっとも当てはまると考えられる系・分野・分科を選んでください。複数の分野にまたがる場合は主に当てはまる質問11 ものを3つまで選んでください。

※選択肢の全体像を確認したい方は「質問11選択肢1シートをご覧ください。」

該当分野1	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	01.情報学基礎
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	02.ソフトウェア
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	03.計算機システム・ネットワーク
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	04.メディア情報学・データベース
該当分野2	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	07.感性情報学・ソフトコンピューティング
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	08.図書館情報学・人文社会情報学
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	09.認知科学
	01.総合・新領域系 01.総合領域 01.情報学	10.統計科学
該当分野3	01.総合・新領域系 02.複合新領域 01.環境学	01.環境動態解析
	01.総合・新領域系 02.複合新領域 01.環境学	02.環境影響評価・環境政策
	01.総合・新領域系 02.複合新領域 01.環境学	03.放射線・化学物質影響科学
	01.総合・新領域系 02.複合新領域 01.環境学	04.環境技術・環境材料

出所：文部科学省

質問12 助成を受けたプロジェクトが貢献できると思う領域を、次の中から3つまで選んでください。

※選択肢の全体像を確認したい方は「質問12選択肢」シートをご覧ください。

	▼
	▼
	▼

その他回答：

--

質問13 助成を受けたプロジェクトで用いた手法として当てはまると考えられるものを、次の中から3つまで選んでください。

- 1. 事例研究
- 2. 比較研究
- 3. 聞き取り/アンケート調査
- 4. エスノグラフィー/参与観察
- 5. 統計的分析
- 6. 実験的研究
- 7. アクション・リサーチ
- 8. 分野横断/学際的研究
- 9. 史料調査・分析
- 10. 文献研究
- 11. その他上記にあてはまらない手法：

--

質問14 助成を受けたプロジェクトはどのようなタイプと位置づけられますか。次の中から2つまで選んでください。

- 1. 独創的
- 2. 挑戦的
- 3. 先駆的
- 4. 実験的
- 5. 学術的
- 6. 実践的
- 7. 革新的

質問15 助成を受けたプロジェクト成果の裨益者として、もっとも当てはまると考えられる対象を選んでください。

- 1. 一般市民
- 2. 当事者（研究対象、或いは研究対象地の住民）
- 3. 市民セクター関係者（NGO/NPO）
- 4. 行政関係者
- 5. 国際機関（国連等）関係者
- 6. 学術・研究・教育関係者
- 7. その他

【11年度～13年度助成の個人研究の方、及び共同研究2「社会的課題の解決に資する研究」の方は回答不要です】

助成テーマ「社会の新たな価値の創出をめざして」の助成を受けたプロジェクトについて教えてください。

助成を受けたプロジェクトを通してめざした「社会の新たな価値」とは何ですか。

それはどのような「既存の価値」に対するものですか。あるいは「既存の価値」に対するものでなければ、どのような課題に対するものだったと

質問16 お考えですか。各100文字以内でお書きください。

※11年度～13年度助成の個人研究の方、及び共同研究2「社会的課題の解決に資する研究」の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 該当しない
- 2. 社会の新たな価値

「既存の価値」、または「課題」

また、それはどのような社会の実現を目指したものでしたか。

（例えば、格差のない社会の実現、自然環境との共生の実現など）100文字以内でお書きください。

質問17

※11年度～13年度助成の個人研究の方、及び共同研究2「社会的課題の解決に資する研究」の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 該当しない
- 2. 自由記述

プロジェクトを終えてみて、あなたは助成を受けたプロジェクトを通じて当初の目的を達成できたと考えますか。最も近いものを選んでください。

質問18

※11年度～13年度助成の個人研究の方、及び共同研究2「社会的課題の解決に資する研究」の方、並びに現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 想定以上に達成できた
- 2. 想定通りに達成できた
- 3. 一部課題は残るが、概ね達成できた
- 4. 少しは達成できたが、課題が多く残った
- 5. 達成できなかった
- 6. 該当しない

助成を受けたプロジェクトのプロセスと成果、その後について、教えてください。

質問19

企画書の中で記載したスケジュールや支出計画に対し、実際のプロジェクトの進捗はどうでしたか。

- 1. ほぼ計画通りであった
- 2. やや変更があった
- 3. ほとんど計画通りにいかなかった

（質問5で「共同研究」と回答した人のみ）

質問20

助成期間実施中の共同研究者の協力体制について、当てはまるものを選んでください。

※個人研究の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 大変理想的な協力体制が築け、遂行上、期待以上の相乗効果が得られた
- 2. 理想的な協力体制が築け、遂行上、期待通りの効果が得られた
- 3. 多少問題はあったが、遂行の妨げになるほどではなかった
- 4. 協力体制に問題があり、遂行に支障が出た
- 5. 該当しない

質問21 助成期間を通して、どのような成果発信を行いましたか。日本語で出した成果についてすべて教えてください。

- 1. 書籍出版
- 2. 学会誌等への論文寄稿
- 3. 学会発表
- 4. 映像作品の制作
- 5. 冊子/パンフレット等の制作
- 6. シンポジウム・ワークショップ等の開催
- 7. 展示会・上映会の開催
- 8. Webサイト構築・アプリ開発
- 9. 研究会等の立ち上げ
- 10. 政策提言
- 11. 日本語では発信していないが他の言語では発信している
- 12. どの言語でも発信していない
- 13. その他

質問22 助成期間を通して、どのような成果発信を行いましたか。英語など日本語以外で出した成果についてすべて教えてください。

- 1. 書籍出版
- 2. 学会誌等への論文寄稿
- 3. 学会発表
- 4. 映像作品の制作
- 5. 冊子/パンフレット等の制作
- 6. シンポジウム・ワークショップ等の開催
- 7. 展示会・上映会の開催
- 8. Webサイト構築・アプリ開発
- 9. 研究会等の立ち上げ
- 10. 政策提言
- 11. 日本語以外では発信していない
- 12. その他

質問23 企画書の中で記載した「成果と波及効果」について、どの程度実現できたと考えますか。もっとも近いものを選んでください。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 記載した以上の成果が出せた
- 2. 記載したとおりの成果が出せた
- 3. 一部は実現できなかったが、概ね記載内容に近い成果が出せた
- 4. 記載内容の半分程度の成果は出せた
- 5. 記載した成果は出せなかった
- 6. 該当しない

質問24 質問23について、そのように回答した理由はなぜですか。工夫した点や、うまくいった、又はいかなかった点等を具体的に教えてください。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 該当しない
- 2. 自由記述

質問25 質問23で選択肢1と回答された方に伺います。記載した以上の成果とは、具体的にどのようなものか教えてください。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 該当しない
- 2. 自由記述

質問26 助成を受けたプロジェクトテーマを、現在まで継続して研究していますか。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 同じテーマを研究している
- 2. 同じではないが、関連テーマを研究している
- 3. 現在、同じテーマは研究していない
- 4. 該当しない

質問27 助成を受けたプロジェクトテーマに関して、助成終了後、何らかの形で成果発信を行ったことがある場合、その詳細を教えてください。複数ある場合はすべて記載してください。当てはまるものをすべて選択し、下の自由記述欄に可能な限り記載してください。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. 書籍出版
書籍名・出版年：
- 2. 学会誌等への論文寄稿
学会誌名・論文タイトル・出版年：
- 3. 学会発表
学会名・開催日時・場所：
- 4. 映像作品の制作
作品名・制作年：
- 5. 冊子/パンフレット等の制作
タイトル・制作年：
- 6. シンポジウム・ワークショップ等の開催
シンポジウム名・開催日時・場所・（あれば）URL：
- 7. 展示会・上映会の開催
イベント名・開催日時・場所・（あれば）URL：
- 8. Webサイト構築・アプリ開発
タイトル・公開年・（あれば）URL：
- 9. 研究会等の立ち上げ
研究会名・設立年・（あれば）URL：
- 10. 政策提言
提言先・内容：
- 11. その他
- 12. 成果発信を行っていない
- 13. 該当しない

質問28 助成を受けたプロジェクトテーマに関して、助成終了後に別の助成金・補助金を受けたことがあれば、その詳細を記載してください。（助成金名、助成者、金額、期間）ない場合は、何も記載せず次へお進みください。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。

該当しない
自由記述

助成金名：
助成者：
金額：
期間：

助成金名：
助成者：
金額：
期間：

助成金名：
助成者：
金額：
期間：

質問29 助成中、または助成を受けた後に、受賞歴があれば詳細を記載してください。（賞名、授与者、受賞年）

※助成を受けたテーマに直接的に関するものでなくとも構いません。

受賞歴がない場合は、何も記載せず次へお進みください。

質問30 助成を受けたプロジェクトテーマの論文等成果物が引用されたことがある場合、被引用数を記載してください。

※ない場合は、「0」とご記載ください。

- 1. 回
- 2. わからない

質問31 助成を受けたプロジェクトテーマに関して、新たに交流やネットワークが構築されましたか。

- 1. 構築されたネットワークは特に無し
- 2. 新たに自分で学術研究会などを立ち上げた
- 3. 新たに自国内の学術研究会などに参加した
- 4. 新たに海外の学術研究会などに参加した
- 5. 定期的にやり取りをするような、新たな市民ネットワーク、コミュニティへのネットワークを構築した
- 6. 定期的なコンタクトをとるほどではないが、これまではあまり関係がなかった他研究者やステークホルダーと共に活動ができた

質問32 学界や職場などにおけるあなたのポジション（役職・役割）は助成前と比べてどのように変化しましたか。

- 1. 大きく向上した
- 2. 少し向上した
- 3. 変化していない
- 4. 少し下がった
- 5. 大きく下がった
- 6. わからない/回答を控えたい

（質問5で「共同研究」と回答した人のみ）

質問33 代表者以外で、この助成を受けたプロジェクトに参加・協力することにより、成長した大学院生などの若手研究者はいますか。

※個人研究の方は「該当しない」を選択してください。

- 1. その後の研究や活動で功績を挙げた者がいる
- 2. その後も関連する研究を続けている者がいる
- 3. 新たに学位を取得した者がいる
- 4. 特になし
- 5. その他
- 6. 該当しない

当財団の研究助成に関するご意見や感想を教えてください。

質問34 当財団の研究助成プログラムのよいところはどこだと思いますか。最も当てはまるもの3つまで選択してください。

- 1. 学問領域横断的テーマでも採用されるため
- 2. リベラルアーツに対しても手厚い助成がつくため
- 3. 応募資格に関する制限が少ないため
- 4. 日本語（または英語）で応募することができるため
- 5. 助成を受けることで新たなネットワークが広がるため
- 6. トヨタ財団からの助成を受けることで研究者としての実績になるため
- 7. 期間中、財団から研究に対するアドバイスや必要なネットワークの紹介が受けられるため
- 8. 財団主催のワークショップ等で、交流・学びの場があるから
- 9. 研究と実践の両方を取り入れたプロジェクトが採用されるため（科学研究費助成事業ではあてはまりにくいテーマでも受け入れられ
- 10. 成果物として、論文にとらわれない多様な表現が認められるため
- 11. 予算の使途や期間延長など、運用面での柔軟性が高いため
- 12. その他

質問35 当財団の研究助成として、どのような分野や特性があることが望ましいとお考えでしょうか。次の中から3つまでお答えください。

- 1. 国際共同研究への助成
- 2. 学際的な研究への助成
- 3. 日本にかかわる分野の研究への助成
- 4. 既存研究分野にとらわれない幅広い研究分野への助成
- 5. 予算や研究期間に対する柔軟な対応が可能な助成
- 6. 5年から10年を見据えた長期研究への助成
- 7. 財団が設定した特定の課題に対する研究への助成
- 8. 個人研究への助成
- 9. 若手研究者への助成
- 10. 在野研究者など、多様な人に門戸を開いた研究助成
- 11. その他

質問36 当財団の研究助成プログラムへの申請と並行して検討した、或いは助成を受けた他助成プログラムがあれば、差支えない範囲で教えてください。（研究助成プログラム名と実施者） **特になし場合は、何も記載せずそのままお進みください。**

研究助成プログラム名：

研究助成プログラム名：

研究助成プログラム名：

質問37 当財団の「社会コミュニケーションプログラム」を活用して成果発信をしましたか、あるいは検討していますか。

※現在プロジェクト進行中の方は「該当しない」を選択してください。


- 1. 活用した
- 2. 活用していない
- 3. 検討している
- 4. 検討していない
- 5. プログラムを知らなかった/活用の仕方がよくわからない
- 6. 該当しない

質問38 当財団の研究助成プログラムについて、総じての満足度を教えてください。

- 1. 大変満足
- 2. 満足
- 3. どちらでもない
- 4. 不満足

5. 大變不滿足

質問39 当財団の研究助成プログラムに参加した感想、当財団への要望や改善点等があれば、自由に記入してください。
※回答者個人を特定しうる内容は記載しないようお願いいたします。



ご協力ありがとうございました。